龍谷大学福祉フォーラム第５回共生塾

輝け生命、孤立からのネットワーク

老人医療・乳幼児医療の無料化を全国に先駆けて実施した旧・沢内村(現・西和賀町)で生命がきらきら輝くまちづくりが「ＮＰＯ法人・輝け「いのち」ネットワーク」を中心に展開されています。
映画「いのちの作法」は沢内を舞台にして生命のぬくもりを伝える作品です。その生命が揺らぎ、そっと全国から消える数が毎年３万人を超えています。初めて「ＮＰＯ法人・ライフリンク」によって「自殺実態１０００人調査」が企画・実施され、発表されています。
自殺は新たな社会問題であり、予防できます。生命の尊さを地域特性を踏まえて守っていく取り組みから学ぶものは何か。生命を守る企画を考えています。

場所 龍谷大学瀬田キャンパス
４号館201教室

定員 各回50名

2009年 6月27日(土) 13:30〜16:30

[オプション] 10:30〜12:20 入場無料 参加自由
映画「いのちの作法―沢内『生命行政』を継ぐ者たち」を上映

第1講 13:30〜15:00　第2講 15:00〜16:30

「生命を守る地域づくり」

講師　高橋典成氏（特定非営利活動法人 輝け「いのち」ネットワーク代表）

豪雪・貧困・多病多死の三重苦にあえぐ地域。だから「ひとの生命に格差があってはならない」と全国に先駆けて老人医療、乳幼児医療費の無料化を行った旧沢内村(現・西和賀町)。生命がきらきらと輝く地域で高齢者や障がい者、子どもたちはどのように生命を燃やしているのであろうか。生命を守る地域づくりの成立と困難、その継承や今日的課題を学ぶ。

参加費 福祉フォーラム会員・ＲＥＣ会員 2,000円
一般 2,500円　龍谷大学学生 2,000円

2009年 7月 4日(土) 13:30〜16:30

第3講 13:30〜15:00　第4講 15:00〜16:30

「自殺の実態と予防の課題」

講師　山口和浩氏（特定非営利活動法人 自死遺族支援ネットワークＲｅ代表）

「生命の光」が揺らぎ、そっと消える数が毎年３万人を超えている自殺大国・日本。ようやく「自殺対策基本法」が成立し、初めて『自殺実態白書』が発刊されている。自殺者の６０パーセントが事前にサインを出しているという。地域特性をふまえた対策とはどのようなものか。自殺の実態調査と予防の現場、ＮＰＯの実践に学び「生命の光」を守る取り組みと今後の課題を考える。

参加費 福祉フォーラム会員・ＲＥＣ会員 2,000円
一般 2,500円　龍谷大学学生 2,000円

●手話・要約筆記をご希望される方は事前にお申込みください。

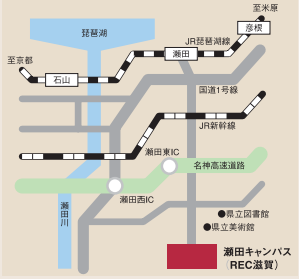
主催：龍谷大学福祉フォーラム
共催：龍谷大学 人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター

龍谷大学 創立370周年 『進取と伝統』～新しさを重ねて370年～ Ryukoku Univ. 370th Anniversary

お問い合わせ
龍谷大学福祉フォーラム事務局（ＲＥＣ滋賀）
〒520-2194　滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5
TEL／077-543-7744　FAX／077-543-7771
E-mail／r-fukushi@ad.ryukoku.ac.jp
ホームページ／http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/fukushi/
（受付時間：月曜日～金曜日 9:00～16:30）

※土曜・日曜・祝日及び大学が定める休日は、受付業務を行なっておりません。
龍谷大学は、学内全面禁煙です。

電車　バス
JR琵琶湖線「瀬田」駅下車
帝産バス「龍谷大学」行き（約10分）

お車
名神高速「瀬田西IC」（大阪方面から）
「瀬田東IC」（名古屋方面から）より
文化ゾーン方向へ車で約5分　【駐車場有】

JR京都駅
快速16分
JR石山駅
普通２分
JR瀬田駅
快速44分
JR彦根駅
バス約10分
龍谷大学瀬田キャンパス